

鬼怒川緊急対策プロジェクトの進捗 ～「水防災意識社会の再構築」～

平成27年9月関東・東北豪雨で大きな被害を受けた鬼怒川下流域では、鬼怒川緊急対策プロジェクトとして、常総市を含む7つの自治体が国・茨城県と共に、ハード・ソフトが一体となった緊急的な治水対策を行ってきました。

【ハード対策】

- ・決壊した堤防の本格的な普及
- ・高さや幅が足りない堤防の整備
- ・洪水時の水位を下げる稼働掘削など

【ソフト対策】

- ・豪雨時の行動「タイムライン」作成と訓練
- ・地域住民等との共同点検
- ・広域避難に関する仕組み作りなど

プロジェクトでは、H27年洪水の再度災害防止を図るとともに、これを上回る洪水の発生に対しても社会全体でこれに備えることを目指し、令和2年度完成予定で進めてきましたが、令和3年3月で概ね完成しています。

並行して進めてきたソフト対策「マイタイムライン」は進化し、マイタイムラインリーダー認定制度により認定されたリーダーが活動を広げていきます。



整備された堤防(美妻橋上流)

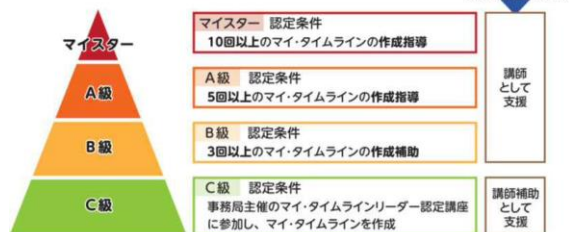


各地で被害があった令和元年の洪水も安全に流下させました。

進化したタイムライン「マイタイムラインリーダー」養成講座



「マイスター」を頂点とする認定制度



県西地区13市町の広域避難計画調印



鬼怒川緊急対策プロジェクトの完了は、一つの区切りです。

平成27年9月関東・東北災害の経験を活かして行くことを忘れてはいけません。私たち常総市は、「防災先進都市」を目指して、これからも水防災への取り組みを続けていきます。